

1. FUJI 2. TAKA 3. CHALLENGE



たかおか

発行：まちづくり協議会 編集：まちづくり新聞編集委員会 連絡先：まちづくりセンター (TEL71-3215)

あなたが主役、みんなが笑顔になれるまち！

まちづくり協議会が総会

鷹岡地区の各種団体が連携してのまちづくり推進機関である鷹岡地区まちづくり協議会の「令和4年度総会」が5月20日、まちづくりセンターで開かれました。今年も新型コロナウイルス感染症の拡大防止に最大の注意を払い、出席者を限定しての総会となりましたが、本年度の予算・事業計画など5議案を承認しました。新・まちづくり活動推進計画が始動の年、会場にはまちづくり活動の推進に向け、一丸となって取り組みを加速させていくための意気込みと決意が漲っていました。

総会には、協議会の構成団体の代表など50人余が出席。遠藤晃会長は、「新型コロナ禍の中、令和2年度から殆どの事業が出来ていない状態が続き、4年度に入っても4月のさくら祭り、7月の通学合宿を中止と決定。しかし、ここに来てワクチン接種が行きとどき、屋外でのマスク着用緩和の方向が打ち出されるなど変化が生じている。状況を把握しながら事業実施の検討をしていかなければならない」と述べました。

また、本年度から第6次富士市総合計画がスタート。これに伴って新・まちづくり活動推進計画(地域の力こぶ増進計画)も始動。地区別の鷹岡地区まちづくり行動計画の実施については、『子どもから大人まで、あなたが主役！みんなが笑顔になれるまち鷹岡』を合言葉に、地域の将来を見据え、各団体が連携をして地域づくりをしていきましょう」と理解と協力を呼び掛けるとともに、まちづくりセンターの管理運営を委ねる指定管理者制度の導入にも触れ、「本年度から松野地区と須津地区のまちづくり協議会が指定管理者に指定されセンターを管理運営していくことになったが、この方向性は急速に進んでいくことになると思う」と述べました。

富士市26地区のまちづくり協議会が結束して連合組織を立ち上げ、近く設立総会が開催される動きなどについても紹介、結びに「それぞれの地区がまちづくりの活動を主体的に推進して、地域の課題を解決、地域の活性化を図ることが強く求められている。鷹岡地区においても皆様の力をお借りしながら、諸事業に積極的に取り組んで参りたいと決意を新たにしている」と抱負を語りました。

本年度事業では、「さくら祭り」と「通学合宿」は中止が決定。これまでさくら祭りに合わせて実施しているフォトコンテスト「鷹岡地区の春」を単独で開催。通学合宿は宿泊を取り止めて子どもを対象にした代替事業に見直すほか、「まちづくり講演会」は『指定管理者制度の導入について』をテーマに、1回目(8月2日)を行政側の立場から、2回目(期日未定)は導入地区からの講話を企画しています。市長との対話集会である「行政懇談会」(10月17日)、地域活性化事業「潤井川左岸の清掃」(11月13日)など、順次開催していくことになっています。



決意を新たに、挨拶に立つ遠藤会長

富士市まちづくり協議会連合会が設立総会 富士市内全26地区のまちづくり協議会で組織する「まちづくり協議会連合会」の設立総会が6月5日、市ロゼシアターで開催されました。役員は各地区協議会の会長が理事、副会長が会員を務め、初代連合会長には、東部ブロックの斎藤清隆さん(富士南地区)を選出しました。連合会では行政要望などでの意見の取りまとめや各地区の活動の情報共有に取り組み、本年度の事業計画では、まちづくり交流事業をはじめ役員研修会や市長との行政懇談会の開催を掲げています。

今年もコロナ禍で総会も特例措置

新型コロナウイルス感染拡大防止とする3密（密閉・密集・密接）回避のため、生涯学習推進会総会は人数を縮小した対面総会、福祉推進会総会は中止とし、議案書配布の書面評決をもって行われ、前年度の事業・決算をはじめ本年度の事業計画や予算、それに役員体制が決定しました。しかし感染拡大が続き、総会で決定した事業の中止も相次いでいます。この紙面では、その状況や役員体制を中心にお伝えします。

生涯学習推進会総会

「令和4年度総会」は3年ぶりに5月10日にまちづくりセンターで人数を縮小しての対面総会を実施しました。

未だ新型コロナは収束しておらず、今後とも「ウイズコロナ」で慎重な対応が求められています。

令和3年度はコロナ禍の中、3密を避けた形での事業を計画しましたが、8月に緊急事態宣言が適用に至り、余儀なく全事業を中止しました。

解除後の10月に、富士市の活動補助金は11月中に申請すれば適用可能との情報を受け、再度体育祭の代替事業である「ウォークラリー&抽選会」を復活させ、12月19日実施し、補助金を有効利用しました。

その他、スポーツ大会、交通安全、県下一斉補導等できることを実施しましたが、コロナ禍の中ではコミュニティ事業は十分に機能しないことを実感しました。

令和4年度も長年培った区長会と連携した生涯学習の体制を維持していくことを大切にして、まちづくりの新たな日常に向けた取り組みを行ってまいります。



生涯学習推進会総会での渡邊会長

本年度の役員体制は次の通り。副会長などのカッコ内は担当部、支部長のカッコ内は担当区です。敬称略。

- 【会長】 渡邊敏（統括、入山瀬東）
- 【副会長】 佐野周司（体育保健部、厚原西）、後藤敏巳（青少年育成部、入山瀬西）、戸田照栄（総務部、入山瀬久保）、赤池正興（会長付、厚原西）
- 【支部長】 渡辺敏彦（厚原西）、太田敏章（久沢東）、山崎哲男（久沢西）、浅野保司（久沢南）、村松辰信（久沢北）、若月義憲（鷹岡本町1）、望月武彦（鷹岡本町2）、西村誠（鷹岡本町3）、山田剛（入山瀬東）、渡邊頼次（入山瀬西）、道越義朗（入山瀬天王町）、石原富三（入山瀬久保）
- 【監事】 西川弘（久沢東）、藤浪教佳（入山瀬天王町）
- 【会計】 赤池正興（厚原西）、後藤敏巳（入山瀬西）
- 【部長】 戸田照栄（総務部、入山瀬久保）、岸本修身（成人教育部、久沢南）、村松由美子（青少年育成部、久沢北）、高塚資雄（安全教育部、久沢東）、渡辺栄志（体育保健部、入山瀬西）

生涯学習推進会総会において、永年この会に貢献された、小林誠次さん（久沢北）、遠藤智也さん（入山瀬西）佐野恵子さん（久沢西）に感謝状が贈呈されました。

福祉推進会総会

「令和4年度総会」は中止となりました。

その為、書面表決をもつての総会となり、予算・事業計画が決定しました。

令和3年度は各行事が中止となりましたが、「ふれあい訪問」・「まゆ玉づくり」・「サロン交流会」等は人数制限し、実施しました。

本年度も昨年と同様に「ふれあい訪問」・「まゆ玉づくり」・「サロン交流会（10か所）」を行います。

ふれあい訪問で「見える・つながる・つなげる」関係づくりを鷹岡地区の目標に一同頑張ります。

また、5月19日に実行委員会が、まちづくりセンターで69名参加いただき、実施いたしました。



実行委員会での佐野会長

本年度の役員体制は次の通りです。敬称略

- 【会長】 佐野康雄（元民生児童委員会長）
- 【副会長】 井出たまみ（民生児童委員）
- 【企画委員長】 川田和豊（厚原西）
- 【企画副委員長】 遠藤敏彰（厚原西）
- 【会計】 赤池 芳（民生児童委員）
- 【監事】 村上 亨（入山瀬東区長）
- 【監事】 植松おみえ（民生児童委員）

【お詫びと訂正】

令和4年4月20日発行の鷹岡まちづくり新聞（46号）に掲載いたしました、「令和4年度の区長紹介」掲載内容に一部誤りがございました。

- ・訂正箇所：
・鷹岡本町2区

（誤）横溝秀昭 （正）横溝秀明
訂正していただくとともに深くお詫び申し上げます。



シリーズ 直撃インタビュー VOL.28

シリーズ第28弾の今回は、今年度鷹岡まちづくりセンター長に就任された 渡邊 剛男

(わたなべ たかお)さんにご登場を願い、抱負などを語っていただきました。

鷹岡まちづくりセンター長

たかお 渡邊剛男 さん

Q…まず、自己紹介をお願いいたします。

A…平成6年に富士市へ入庁。障害福祉課、市民安全課、多文化、男女共同参画課など6つの部門を経験してきました。

まちづくりセンターの勤務は、岩松まちづくりセンターに続いて2回目になります。

私が経験してきた職場は、市民の方々の近くで、その声をよく聴き、寄り添う気持ちが特に大切な職場でした。鷹岡まちづくりセンターでも、これまでの経験を活かして、地区の街づくり活動に貢献できたらと思います。

Q…着任されて、抱負は、まちづくりセンターの指定管理者制度の導入についてどのように取り組んでいきますか。

A…今年の4月から市内、須津地区と松野地区において、指定管理者制度を利用したまちづくり協議会により、まちづくりセンターの運営が始まり、現在、まちづくりセンターを取り巻く環境は、変革の時を迎えています。

そのような大事な時期に、地区の皆さんが将来の鷹岡地区まちづくり活動にとって、より良い選択ができるように必要な支援を行っていただけたらと思います。

Q…鷹岡地区の印象は。

A…実は、私が生まれ、育ったのはこの鷹岡地区で私にとって特別な場所です。先日、平成27年に、鷹岡まちづくり協議会が、地区の歴史をまとめて発行した郷土史『鷹岡』を見ていたところ、鷹岡小学校の昔の写真がいくつか載っていました。その中の講堂【当時富士郡下で最初に建てられた鉄筋コンクリート造りの建物】内部の写真を見て、忘れていた昔の記憶がよみがえり、とても懐かしい気持ちになりました。

私が子供のころに、子供会、地区のお祭りなど、地区の方々に大変お世話になったのですが、大人になった現在、地元のために仕事ができることを幸せに思います。



Q…これからの活動 皆さんへお伝えしたいこと。

A…鷹岡地区では、以前から地区の役員さんのお力によって、「桜祭り」「体育祭」「文化祭」小学生を対象にした「通学合宿」など様々な事業を行ってききましたが、ここ2～3年は新型コロナウイルス感染症のため中止を余儀なくされてきました。

「ウイズコロナ」「ポストコロナ」と言われ、徐々に再開が求められるようになってきておりますが、何年か中断していた事業を復活させるには、大変な苦労があります。

地区の事業についてはぜひとも、役員さんだけではなく広く地区の皆様のご理解とご協力をいただければと思います。

Q…いま関心を持っていること。その他。

A…ことしはNHKの大河ドラマで「鎌倉殿の13人」が放送されています。ドラマでも登場する曾我兄弟に関係する曾我寺や曾我八幡宮が鷹岡地区にはあります。

また、鷹岡の地名も、曾我五郎時(弟)が、鎌倉へ護送される途中、ここ鷹ヶ丘で処刑されたことがいわれと伝わっており、曾我兄弟の仇討と深く関係しております。

地区の皆様には、この時期にこう言った史跡を訪ね歩いてみるなど、古来由緒ある鷹岡地区の歴史を改めて見直してみると、再発見があって楽しいと思います。

鷹岡まちづくりセンターには、先ほどご紹介しました郷土史『鷹岡』の在庫がありますので、興味のある方は、ぜひまちづくりセンターまでお越しください。

資源回収にご協力ください！

鷹岡小学校では、「アルミ缶回収」「古紙回収」「廃食用油回収」を行っています。
鷹岡地区の皆様、ぜひご利用ください！



アルミ缶回収



鷹岡小学校の西側道路沿い、北門奥、東門の3カ所に、アルミ缶回収ボックスを設置しています。

- ・回収できるのはアルミ缶のみです！
- ・缶は洗ってから出してください！
- ・缶は袋に入れて出してください！



古紙回収ステーション

古紙回収ステーションは、鷹岡小学校西側の道路沿いです。新聞紙、雑誌、ダンボール、紙パック、その他の紙などを回収しています。収益金は、鷹岡小学校の教育活動に使わせていただきますので、ご協力をお願いします。

- ・回収は平日(月～金)の8:00～16:15です。
- ・夏休み・春休みの平日は回収します。
- ・12月29日～1月3日は回収しません。



廃食用油回収

管理棟入口の、青いコンテナの中に油を入れてください。黄色いのぼりが目印です！

- ・回収は平日(月～金)の8:00～16:30です。
- ・長期休み期間中は回収しません。
- ・詳しくは富士市HPをご覧ください。



続、私の町の福祉施設を知ろう！

鷹身工芸社

「富士市社会福祉協議会」では、市内で10カ所の障害者就労支援施設を運営しています。

今回は、鷹岡地区にある就労継続支援B型事業所「鷹身工芸社」についてご紹介します。

障害者就労支援施設（就労継続支援B型事業所）は、知的・身体的にハンディのある人たちに、働く場を提供するとともに、自立や社会参加に向け、必要な支援を行う施設です。障がいの有無に関わらず、一人一人が住み慣れた地域で、安心して社会生活を営むための場所であり続けるようこれからも努めていきます。

「元気に育て」と愛情たっぷりに
花を育てています！



ご希望に応じてお正月用など季節の寄せ植えも大小作っています。秋頃から、パンジー・ビオラを販売予定です。
鷹岡地区の皆様のご注文をお待ちしております！



鷹身工芸社では、地域の皆様とのかかわりを通じて、利用者さんの気持ちに寄り添った支援をさせていただきます。



富士市社会福祉協議会（「社協」）は「いつまでも安心して暮らせる福祉のまちづくり」を目指して、様々な福祉事業を行っています。 当会ホームページ（URL: <https://fujishishakyo.com/>）の情報もご覧ください。

◎社会福祉法人富士市社会福祉協議会

〒416-8558 富士市本市場 432-1 フィランセ東館 電話:0545-64-6600

◎鷹身工芸社 〒419-0202 富士市久沢1018-4 電話:0545-71-0105



鷹岡フォトコン 会長賞は松原さん

鷹岡地区を代表するふれあいイベントは4月開催の『桜まつり』ですが、今年も新型コロナウイルスの感染拡大で中止を余儀なくされる中、その代替イベントとして、まちづくり協議会は“鷹岡地区の春”を撮影テーマとした『フォトコンテスト』を開催。募集期間を約1カ月間とする中、43点の応募があり、会長賞1点、優秀賞2点などが決まりました。



会長賞受賞作品です

審査は、プロカメラマンとして活躍している近藤正寛氏（山梨県南部町）に依頼。トップ賞の会長賞に選ばれたのは松原瑠衣さんの作品『ピカピカの1年生』でした。

審査後の5月23日から6月3日までまちづくりセンターで展示会が開かれました。

鷹岡にも誕生、こども食堂 ボーイスカウトが実現させました



テープカットも子供たちが主役でした

学年を超えた放課後の子供たちの居場所として注目されている「こども食堂」。鷹岡地区にも5月に誕生しました。富士市内で11番目。NPO法人ボーイスカウト



メニューはカレーでした

富士第8団が久沢785（久沢東区）の活動拠点・スカウトの家に開設したもので、食堂名は『すみっこ食堂8』です。

利用できるのは小中学生。月1回、8日に開設。

ただし、8月のみ18日の開設となります。時間は午後5時から同7時まで。メニューはカレーです。

問い合わせはこども食堂担当の鈴木孝治さん（Tel090-1416-8453）

7月は社会を明るくする運動 区長会の協力を得て啓発活動

7月1カ月間は法務省が主唱し、全ての国民が犯罪の防止と犯罪者の矯正および更生保護についての正しい理解を深め、進んで、これらの活動に協力するよう呼び掛ける社会を、明るくする運動が繰り広げられています。

「社明（しゃめい）運動」とも呼ばれ、今年で72回目。富士市では地区単位で保護司会や更生保護女性会など関係団体によって運動が繰り広げられています、鷹岡地区では、まちづくりセンターへの横断幕やのぼり旗掲示などの啓発活動が行われます。また区長会を通しての区民の皆様のご理解、ご協力を得ての活動資金で購入した社明ノートの鷹岡小児童への贈呈などが行われました。



鷹岡支部の役員から校長に…

さらに、鷹岡地区独自の啓発事業として7月14日夜にはまちづくりセンターホールを会場に『朗読と講演の夕べ』も開催。7月が青少年の非行・被害防止強調月間であることから保護司会と更生保護女性会に加え生涯学習推進会や鷹岡中PTAにも参画を求めている開催で、活動報告のほか鷹岡中の遠藤勝秋校長による『今、学校に求められているもの』と題した教育講演会も行われました。

鷹岡市民プラザのプール、今夏も休止！

社会福祉センターの鷹岡市民プラザは、コロナ感染対策で中止していたカラオケの利用を6月16日に再開。この一方、併設の子どもたちの楽園・プールは今夏も引き続いて中止としています。問い合わせは富士市社協在宅支援係（Tel0545-64-6567）。

編集後記

コロナ禍となって3年目を迎えました。まだまだ、終息までには時間が掛かりそうですが、各地域ではコロナ対応した各イベントが開催されています。

この2年間マスク着用が常識でしたが、少しずつ緩和されてきました。

コロナが完全に終息してマスクを外した素顔を見るのも、見せるのも何となく恥ずかしい気がしませんか？ コロナ禍以降に、知り合いになりました方の素顔、想像できますか？ そんな事を考えるのは私だけでしょうか。